

全日本病院協会会員病院  
各 位

公益社団法人 全日本病院協会  
会 長 西澤 寛俊  
医療の質向上委員会  
委員長 飯田 修平

## 全日本病院協会「DPC分析事業 (MEDI-TARGET)」 平成 28 年度新規参加病院募集のご案内

平素は当協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、DPCデータを、単なる請求データではなく、医療の質、医療経営の質を向上させる重要なデータであるとして、参加病院が自院において、DPCデータによる経営分析を安価で行える分析システム【名称：MEDI-TARGET】をニッセイ情報テクノロジー(株)のご協力のもと提供しております。

DPCデータを厚生労働省に提出するだけでなく、MEDI-TARGET を活用することで、自院の経営分析、医療サービスの質の評価を行うことをお勧めいたします。

また、本事業にご参加いただきますと、当協会で開催しております「医療の質評価・公表事業」に参加することが可能となります。(詳細は事務局までお問い合わせ下さい。)

この度、平成 28 年度からの標記事業への新規参加病院を募集いたしますので、是非ともご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

### <全日病DPC分析システム (MEDI-TARGET) の主な特徴>

1. 多様な分析指標  
DPCデータを用いた分析を積極的に行っている病院が活用している指標が組み込まれています。
2. ベンチマーク分析  
当事業参加病院だけではなく、当協会以外のDPC病院(一部)とも比較が可能です。
3. その他
  - ①自院で自由なデータ抽出・分析が行えます。
  - ②DPCコードの点検など様々なオプションメニューを用意しています。
  - ③診療報酬等の制度改正にも即時対応します。

### <平成 28 年度参加病院募集について>

参加を希望される場合は別紙「DPC分析事業参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、全日病事務局にFAXにてお送りください。

なお、今年度途中での参加も可能です。

別紙に記載の「MEDI-TARGET 無料体験会(無償)」に是非ご参加いただき、実際のシステムをご体験下さい。

(お申込・お問い合わせ先)

公益社団法人 全日本病院協会事務局 DPC分析事業担当  
〒101-8378 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル 7F  
TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 E-mail dpc@ajha.or.jp

# 全日病DPC分析システム（MEDI-TARGET）について

## 1. 価格（税別）

利用開始月から3月末日までの年間利用となります。利用開始翌年度からは、年度更新となります。

(※税別費用)	初期費用	利用料（年額） （2ユーザまで）	初年度計	次年度以降
会員病院	190,000 円	500,000 円	690,000 円	500,000 円
非会員病院		612,000 円	802,000 円	612,000 円

※年度途中の参加の場合、初年度は参加月から年度末までの月割となります。

## 2. 病院内に新たなサーバーが不要

インターネットを利用したサービス提供（ASP）となるため、病院内に新たにサーバー等を設置する必要はありません。データのセキュリティ面でも安心です。ADSL以上（光ケーブル推奨）の回線があれば、新たに回線を用意する必要もありません。

## 3. 使用データは厚生労働省へ提出するDPCデータのみ

分析に必要なデータは厚生労働省へ提出するデータと同一形式のため、追加でのデータ作成や修正という新たな負荷はありません。

## 4. 診療情報分析

各病院でよく使われている分析の視点を予め準備しているため、すぐに利用が可能です。見たい箇所をクリックしていただくだけで課題発見から原因追求することができ、様々な視点からの分析で、診療の効率化や改善効果を評価できます。

## 5. 自由分析

自由分析は自由自在なデータ抽出ができ、簡単操作で表の作成、グラフの挿入、データのエクспортまでサポートしています。データの計算処理などの手間を省力化するために予めデータを使いやすい形に2次加工した状態でご用意しています。

## 6. 病院指標ベンチマーク

比較したい病院を自由に選択できますので自院と類似の病院群と比較することにより現実的なポジショニングを把握できます。また形成されたグループ内で病院実名表示でも分析可能です。

## 7. 拡張機能

厚生労働省の公開データを用い、自院が位置する地域における機能分担を探るための「マーケティング分析」「地域シェア分析」が可能です。

また自院でコーディングしたDPCコードに対し、様式1、E、Fに登録された診療実績にて、コーディングしたDPCコードと比較し、手術や処置1、処置2、副傷病、JCSなどの重症度に、漏れ・誤りがないか点検する「DPCコード点検」が可能です。※有償オプションサービス

## 8. 来院患者マップ分析

様式1ファイルの「患者住所の郵便番号」よりエリアを特定し、患者数や地域人口に対する来院患者の比率をマッピングします。「地域人口に対する来院患者の比率」を表示できるためエリア特性に沿ったマーケティング戦略の立案が可能です。疾患（MDC、DPC6桁、DPC14桁）、緊急/予定入院、紹介、救急搬送、年代など、さまざまな条件を組み合わせたマップ分析が可能です。※有償オプションサービス

機能の詳細、参加申し込みについては全日病ホームページもご参照ください。

【全日病HP】 <http://www.ajha.or.jp/hms/dpc/>